

津波から『逃げ切る！』支援対策プログラム 津波避難困難地域解消に係る取組状況に ついて

2025年3月
和歌山県

【背景】

本県は昔から南海トラフの地震による津波被害を繰り返し受けており、1944年昭和東南海地震、1946年昭和南海地震により甚大な被害が発生しています。また、和歌山県が位置する紀伊半島は、南海トラフに近く、地震発生から津波が到達するまでの時間が非常に短いという特性があります。

また、2011年3月11日に発生した東日本大震災において、国内で過去最大規模の地震と津波により、沿岸部を中心に甚大な被害が発生したことから、本県においても、国が公表した最大クラスの地震津波についても対策の検討を行い、「東海・東南海・南海3連動地震」及び「南海トラフ巨大地震」の津波浸水想定を2013年3月に公表するとともに、地震被害想定を実施しました。

【目的】

地震被害想定は、建物被害や人的被害等を機械的に算出したもので、住民に対しては不安を与えるだけであり、あまり意味がありません。実際にどの地域が津波からの避難が困難であるか、それに対してどのような対策を行うかを明らかにすること、つまりは住民に情報を正しく伝え、津波避難困難地域の解消対策を推進していくことが大切であると考え、2つの地震による津波から住民の命を救うため、「津波から『逃げ切る！』支援対策プログラム」を2014年10月に策定しました。

各地震における津波避難困難地域

3連動地震

(東海・東南海・南海3連動地震)

- ・市町村数：4町
- ・困難地域数：22地区
- ・面積：85.1ha
- ・人口：4,018人

巨大地震

(南海トラフ巨大地震)

- ・市町村数：12市町
- ・困難地域数：61地区
- ・面積：682ha
- ・人口：22,705人

津波避難困難地域の解消状況について

地震種類	2014年10月	2023年度末	2024年度末	2025年度末(見込)	2026年度末(見込)
3連動地震 東海・東南海・南海地震	<p>■ 解消済 ■ 未解消</p> <p>困難地域 4町22地区</p> <p>22</p>	<p>2町17地区 解消</p> <p>17</p>	<p>3町19地区 解消</p> <p>19</p>	<p>3町21地区 解消</p> <p>21</p>	<p>全地区 解消</p> <p>22</p>
	<p>残存 22/22地区 (100%)</p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すさみ町 (1地区) ・串本町 (10地区) ・那智勝浦町 (9地区) ・太地町 (2地区) 	<p>残存 5/22地区 (23%)</p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・那智勝浦町 (3地区) ・太地町 (2地区) 	<p>残存 3/22地区 (14%)</p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・那智勝浦町 (3地区) 	<p>残存 1/22地区 (5%)</p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・那智勝浦町 (1地区) <p>※県道の橋梁架替</p>	<p>残存 0/22地区 (0%)</p> <p>(内訳)</p>
巨大地震	<p>■ 解消済 ■ 未解消</p> <p>困難地域 12市町61地区</p> <p>61</p>	<p>5市町11地区 解消</p> <p>50</p>	<p>6市町17地区 解消</p> <p>44</p>	<p>8市町29地区 解消</p> <p>32</p>	<p>8市町29地区 解消</p> <p>32</p>
	<p>残存 61/61地区 (100%)</p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美浜町 (1地区) ・御坊市 (1地区) ・印南町 (2地区) ・みなべ町 (1地区) ・田辺市 (5地区) ・白浜町 (11地区) ・すさみ町 (6地区) ・串本町 (18地区) ・古座川町 (1地区) ・那智勝浦町 (10地区) ・太地町 (3地区) ・新宮市 (2地区) 	<p>残存 50/61地区 (82%)</p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印南町 (1地区) ・白浜町 (11地区) ・すさみ町 (6地区) ・串本町 (18地区) ・那智勝浦町 (10地区) ・太地町 (3地区) ・新宮市 (1地区) 	<p>残存 44/61地区 (72%)</p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印南町 (1地区) ・白浜町 (11地区) ・串本町 (18地区) ・那智勝浦町 (10地区) ・太地町 (3地区) ・新宮市 (1地区) 	<p>残存 32/61地区 (52%)</p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・串本町 (18地区) ・那智勝浦町 (10地区) ・太地町 (3地区) ・新宮市 (1地区) 	<p>残存 32/61地区 (52%)</p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・串本町 (18地区) ・那智勝浦町 (10地区) ・太地町 (3地区) ・新宮市 (1地区)

【概ね10年間の成果】

3連動地震の津波対策を優先的に取り組んできた結果、2026年度末には3連動地震に係る全ての津波避難困難地域が解消する見込みとなりました。

なお、巨大地震に係る津波避難困難地域では、津波の到達時間が早い紀南地域で、現状では解消が困難であることから、引き続きまち全体のあり様を見直すことも含め、各市町の南海トラフ地震津波対策検討協議会で協議を継続していきます。

その中で、高台の造成や、事前復興計画に盛り込んだ高台移転を発災前に取り組むなど、巨大地震津波避難困難地域の解消に向けた新たな取組も行われています。

【課題】

津波から住民の命を守るため、巨大地震に係る津波避難困難地域を解消するには、高台造成などまちづくりの方向性を大きく変えていく必要があるが、地域住民の理解や多額の造成費用を要するなどの課題があり、それらを解消し、進めていくとしても、長い期間が必要になります。

【今後】

本プログラムを踏まえ、この10年間で県内市町が津波避難困難地域の解消に向け取り組んできた経験を活かし、各市町においてインフラ整備の進捗、技術の進展などの社会情勢や人口動態の変動を踏まえ、引き続き南海トラフ地震津波対策検討協議会で協議を行い、津波からの避難対策に取り組むます。

ハード対策では、津波の第1波を防ぎ命を守るための堤防等の整備や背後地域を守り経済被害を抑え早期の復旧・復興するための港湾・漁港の堤防等の強化、更なる避難路整備などについて、引き続き取り組んでまいります。

ソフト面では、津波浸水が想定される全地域において、着実に避難が行えるよう日頃から早期避難の訓練等の取組を市町と共に推進します。

併せて、人口減少や少子高齢化が進む中、地域住民が助け合いながら、適切に避難行動がとれるよう地域のつながりを強める取組も推進します。

津波から『逃げ切る！』支援 対策プログラムの考え方

【県民に正しい情報を伝え、「正しく恐れる」ことを周知】

- 「南海トラフ巨大地震」が次に必ず発生する訳ではない。
→ 避難を諦めず、揺れたら逃げることを徹底
- これまでの努力や積み重ねは無駄ではなく、**今後も日々安全度を高めるための取組を積み重ねることが重要**である。
→ 避難訓練参加や家具固定化など、できることから実行



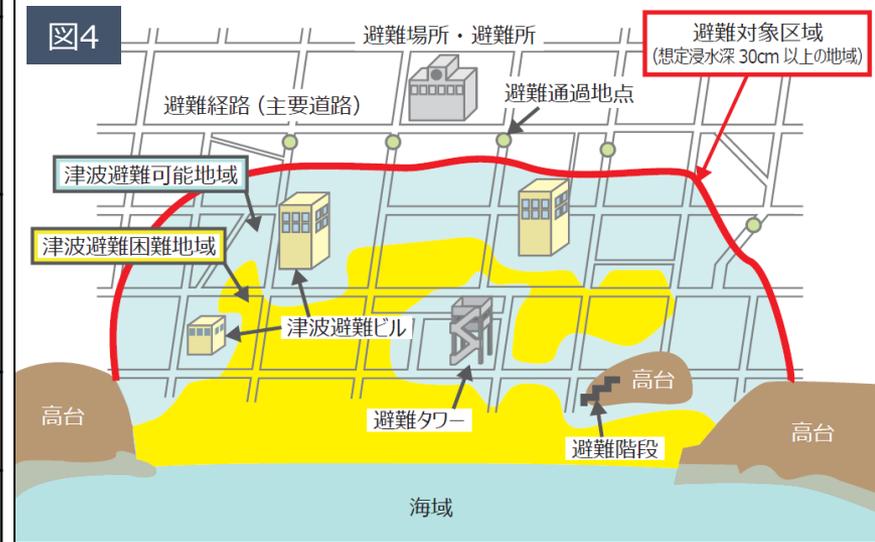
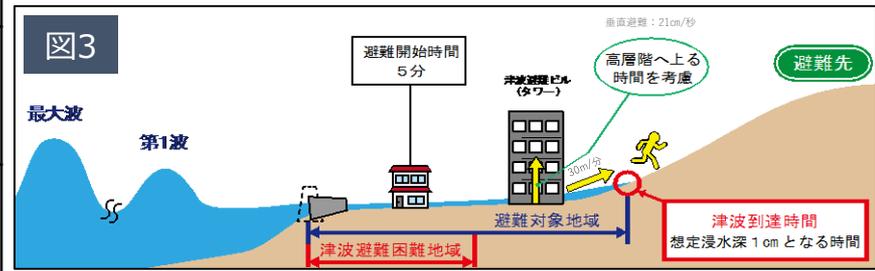
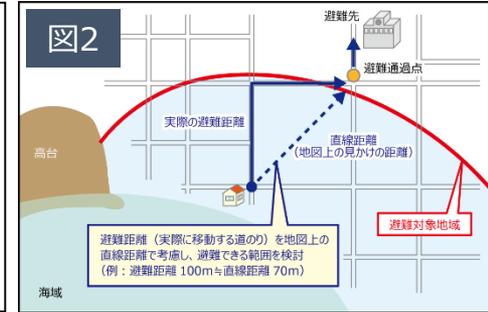
【防災・減災対策において目標を定め、着実に推進】

※発表当時の対策の考え方の整理

	3連動地震	南海トラフ巨大地震
想定される地震の規模	M8.7	M9.1
発生に係る評価	100年前後で繰り返し発生	発生頻度は極めて低い
防災対策	ハード・ソフト対策両面で県民の命と財産を守る	避難対策を中心に県民の命を守る
ソフト対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 揺れたら逃げる意識の徹底 ● 自主防災組織の設立・育成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 津波防災教育の推進 ● 津波訓練の実施 ● 災害時要援護者支援 等
ハード対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難路等整備 ● 耐震化の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難施設整備 ● 高速道路の整備 ● 防災情報システム整備 等
	<ul style="list-style-type: none"> ● 堤防等の整備 ● 公共施設等の高台移転 	

津波避難困難地域抽出の条件

項目		検討条件	
津波規模		3連動地震及び巨大地震	
避難移動条件	避難対象地域	想定津波浸水域のうち、想定浸水深30cm以上の住居地域	
	時間	津波到達	想定浸水深1cmとなる時間
		避難開始	地震発生により5分後(図1)
	避難に使う道路	<ul style="list-style-type: none"> 幅員3m以上の主な道路網 幅員3m未満の道路は、地図上の直線距離から避難距離を算出(図2) 	
	避難使用橋梁	<ul style="list-style-type: none"> 耐震補強済の橋 道路橋示方書^{※1}適用年がS55以降の橋 橋長15m未満の橋 	
移動速度	<ul style="list-style-type: none"> 避難方法は徒歩 速度は、分速30m(図1、図3) 津波避難ビル等の避難施設で階段を上がる速度は、毎秒21cm(図3) 		
避難場所等	避難先	<ul style="list-style-type: none"> 市町が設定した浸水域外の避難施設や広場 避難可能な範囲を検討する上で、巨大地震による最大津波高よりも高い場所への避難を前提とする。 	
	避難通過点	避難に使用する道路上にあり、かつ避難対象地域外の地点	
	津波避難ビル等	市町が設定した避難施設 <ul style="list-style-type: none"> 耐震性を確保している建物^{※2} 鉄筋コンクリート造、または鉄骨鉄筋コンクリート造の構造施設 巨大地震の基準水位^{※3}以上に避難可能な施設 	



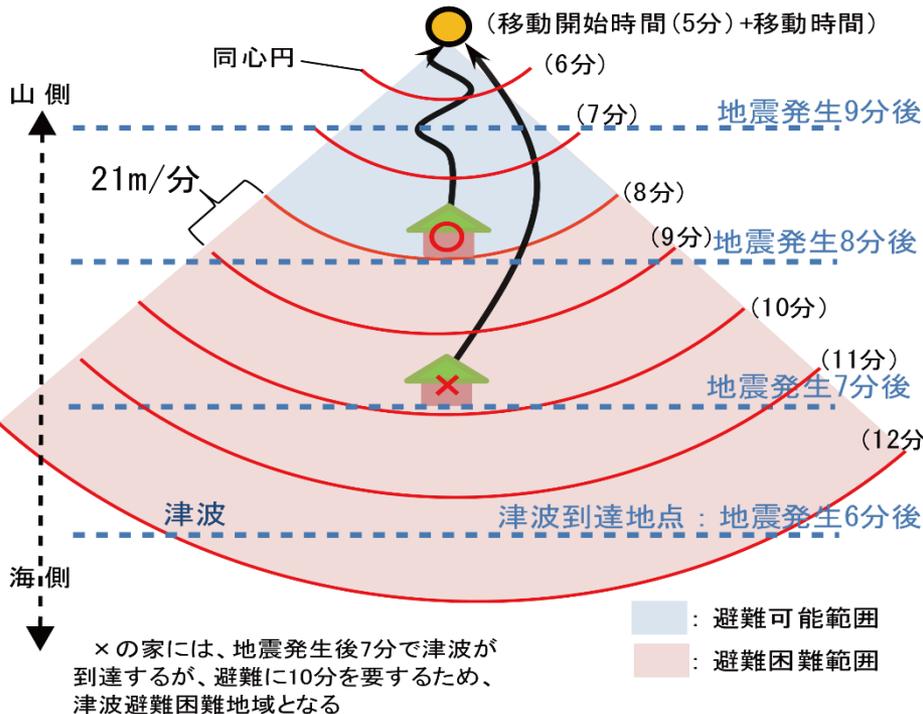
^{※1}…橋、高架の道路等の技術基準
^{※2}…S56以降の新耐震設計基準に基づき建築された建物、耐震補強実施済の建物
^{※3}…津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物等への衝突による津波の水位の上昇を考慮して必要と認められる値を加えて定める水位

◎ 津波避難困難地域の設定方法

- ① 3 m以上の道路は30m/分で範囲を設定
- ② ①の道路がない地域は同心円により設定

【上記、同心円による津波避難困難地域の設定】

浸水域外の避難通過点、避難場所

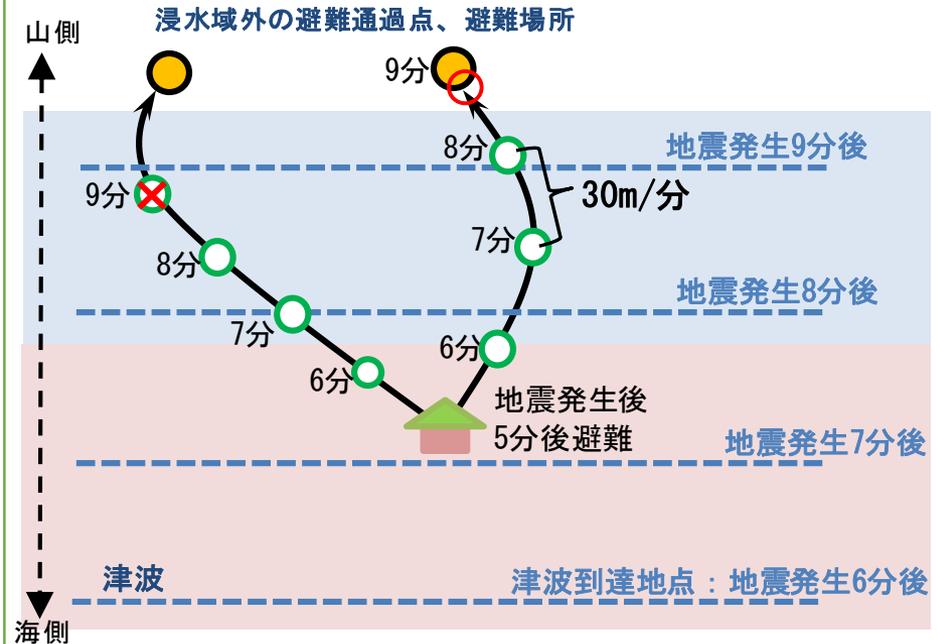


1. 浸水域外のポイント（避難通過点・避難場所）を設定
 2. ポイントから21m/分の円を描き、津波到達時間との接点までが避難可能な範囲と設定
- 津波が居住地まで来る間にポイントに達していない場合に避難困難地域と判断

◎ 避難経路の詳細な設定・周知・早期避難の徹底

- ① 具体的に避難可能な避難経路を設定
- ② 避難訓練や教育・啓発により避難を完了させる

【避難経路設定のイメージ】



1. 現地調査により、避難困難地域の中で3 m未満の道路でも利用可能な避難ルートを抽出
 2. そのルートで津波に追いつかれるまでに浸水域外のポイント（避難通過点・避難場所）に到達できるかどうかを試算(右のルートは津波到達前にポイントに到達でき、左のルートはポイント到達前に津波に追いつかれる)
- 市町による適切な避難経路の設定、その周知、早期避難の徹底を行う対策が必要

3 連動地震による津波への津波対策（プログラム策定時）

避難者が逃げ切れるよう、津波避難ビルの指定や、避難路、避難階段、津波避難施設等の整備を進める。

また、津波の到達時間が早い紀南地域においては、高台移転や複合避難ビル等の整備等に地域改造も含めた対策の検討を行う。

町名	地区名	避難困難地域		逃げ切る！策定時の対策予定						
		人口(人)	面積(ha)	①	②	③	④	⑤	⑥	
すさみ町	周参見	10	0.2	○						
串本町	江田	4	0.1	○						
	田並	78	2.2	○		○				
	有田	47	1.1	○						
	高富	14	0.1	○						
	二色	8	0.1	○						
	串本	843	15.6	○	○		○	○		
	大島	132	1.8	○						
	伊串	11	0.1	○						
	津荷	27	0.6	○						
	田原	176	4.7	○				○		
那智勝浦町	浦神	163	2.5	○	○	○	○			
	粉白	48	1.7	○						
	下里	737	22.4	○	○	○	○	○		
	二河	91	3.0	○				○		
	築地	306	5.7	○	○		○	○		
	勝浦	110	0.9	○						
	天満	565	11.1	○			○	○	○	JR陸橋耐震化
	浜ノ宮	33	1.1	○						
	宇久井	298	4.0	○	○			○	○	県営住宅外階段設置
	太地町	太地	310	5.6	○	○	○	○	○	
常渡		7	0.5	○		○				
合計		4,018	85.1	22	6	6	9	6	2	

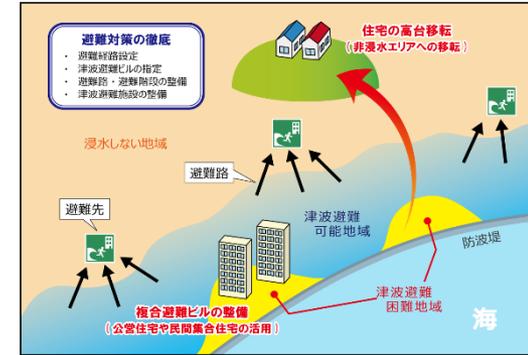
対策項目	対策概要
①避難経路の詳細な設定・周知及び早期避難の徹底	具体的に避難可能な避難経路を設定したうえで、津波避難訓練や教育・啓発等により、適切な避難経路による早期避難を住民に周知・徹底することにより、津波到達までに避難を完了させる。
②津波避難ビルの指定	新たな津波避難ビルの指定により、津波到達までに避難を完了させる。
③避難路・避難階段の整備	避難路・避難階段を整備することにより、津波到達までに避難を完了させる。
④津波避難施設の整備	津波避難タワー等を整備し、緊急の避難場所を確保することにより、津波到達までに避難を完了させる。
⑤堤防・護岸の整備	堤防・護岸の高上げや耐震化等により津波第1波の浸水抑制を行うことで、避難時間を確保し、津波到達までに避難を完了させる。
⑥その他	JR陸橋の耐震化や県営住宅への外階段設置により、津波到達までに避難を完了させる。



避難者が逃げ切れるよう、津波避難ビルの指定や、避難路、避難階段、津波避難施設等の整備を進める。

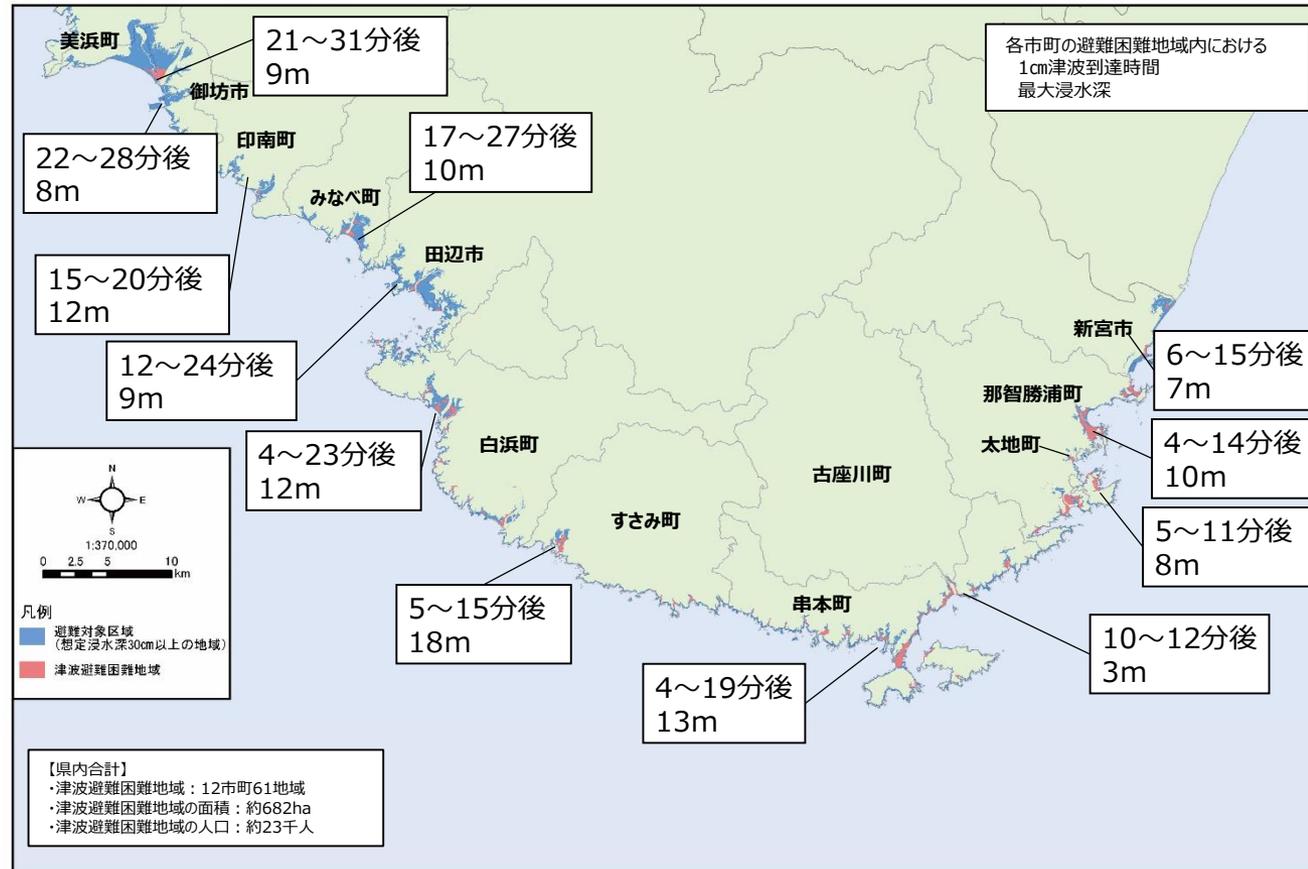
また、津波の到達時間が早い紀南地域においては、高台移転や複合避難ビル等の整備等に地域改造も含めた対策の検討を行う。

* 巨大地震による津波避難困難地域の解消に向けて、津波避難困難地域が存在する12市町に設置された協議会において津波から逃げ切るために策定した対策の具体化の協議を進める。



南海トラフ巨大地震の 津波避難困難地域 (12市町61地区)

- 美浜町 (1地区)
- 御坊市 (1地区)
- 印南町 (2地区)
- みなべ (1地区)
- 田辺市 (5地区)
- 白浜町 (11地区)
- すさみ町 (6地区)
- 串本町 (18地区)
- 古座川町 (1地区)
- 太地町 (3地区)
- 那智勝浦町 (10地区)
- 新宮市 (2地区)



対策の進捗状況

3 連動地震による津波への津波対策（2024年度末時点）

町名	地区名		対策内容	●完成 ○着手済		解消 状況 ◎解消	実施・検討状況 等
				町	県		
すさみ町	1	周参見	避難経路設定・早期避難徹底	●		◎	毎年度、避難訓練実施
串本町	1	江田	避難経路設定・早期避難徹底	●		◎	毎年度、避難訓練実施
	2	田並	避難路・避難階段の整備		●	◎	田並1693付近
	3	有田	避難経路設定・早期避難徹底	●		◎	毎年度、避難訓練実施
	4	高富	避難経路設定・早期避難徹底	●		◎	毎年度、避難訓練実施
	5	二色	避難経路設定・早期避難徹底	●		◎	毎年度、避難訓練実施
	6	串本	避難ビル指定	●		◎	ホテルシーカンス、小西マンション、成和ビル、紀乃国屋ビル、大江戸温泉物語南紀串本
			避難路整備	●			高台への避難路整備（大水崎）
			避難施設整備		●		県営住宅串本団地
			堤防等の整備		●		堤防の高上・耐震化
	7	大島	避難経路設定・早期避難徹底	●		◎	毎年度、避難訓練実施
8	伊串	避難経路設定・早期避難徹底	●		◎	毎年度、避難訓練実施	
9	津荷	避難経路設定・早期避難徹底	●		◎	毎年度、避難訓練実施	
10	田原	避難階段の整備・避難経路設定	●		◎	急傾斜工事による避難階段の設置	
那智勝浦町	1	浦神	避難ビル指定	●		◎	近大研究所
			避難路整備・避難経路設定	●			JR浦神駅付近
	2	粉白	避難経路設定・早期避難徹底	●		◎	毎年度、避難訓練実施
	3	下里	避難路整備	●		2026 年度	つつじ園付近
			避難施設の整備（避難タワー）	●	○		間敷橋（県道）の架替（2026年度完了見込）
			堤防等の整備		●		下里地区津波避難タワー 堤防の高上・耐震化
	4	二河	避難施設の整備（避難タワー）	●		◎	二河地区津波避難タワー
			避難経路設定・早期避難徹底	●			毎年度、避難訓練実施
	5	築地	避難ビル指定	●		2025 年度	ブルーハーバー、万清楼、郵便局、NTT
			避難施設の整備（避難タワー）	○			築地地区津波避難施設（2025年度完了見込）
	6	勝浦	避難経路設定	●		◎	毎年度、避難訓練実施
	7	天満	避難経路設定・早期避難徹底	●			◎
	避難ビル指定		●		2025 年度		町所有倉庫（旧法務局那智出張所跡）、体育文化会館の避難階段
8	天満	避難施設の整備（避難タワー）	●		◎	天満地区津波避難タワー	
	堤防等の整備		○			堤防の高上・耐震化（2025年度完了見込）	
9	浜ノ宮	避難経路設定・早期避難徹底	●		◎	毎年度、避難訓練実施	
9	宇久井	避難ビル指定	●		◎	介護老人保健施設ルピナス、県営住宅宇久井団地	
		避難施設の整備（避難タワー）	●			湊地区津波避難タワー、里地区津波避難タワー	
		堤防等の整備		●		堤防の高上・耐震化	
1	太地	堤防等の整備		●	◎	堤防の耐震化	
		避難路整備	●			暖海公園、太地3768付近、多目的センター	
2	常渡	避難路整備	●		◎	太地2902付近	

巨大地震による津波への対策①（2024年度末時点）

市町名	地区名		避難困難 地域人口 <small>プログラム策定時</small>	●完成 ○着手済		解消 状況 ◎解消	実施・検討状況 等	事前復興 計画	都市計画 マスター プラン
				市町	県				
美浜町	1	吉原、田井、 浜ノ瀬	932	●		◎	避難施設整備 (避難高台、避難タワー)	2019.3 策定	2024.3 改定
御坊市	1	藪 名屋	1,209	●		◎	避難施設整備（避難タワー） その他（御坊大橋の耐震化）	2024.3 策定	2024.3 改定
印南町	1	印南	28	●		◎	避難経路設定 避難路整備（平和橋の耐震化）	2021.3 策定	都市計画 区域【無】
	2	島田	105	○		2025 年度	避難経路設定 避難路整備（切目橋の架替 2025年度完了見込）		
みなべ町	1	山内、気佐 藤、南道、等	548	●		◎	避難ビル指定、避難路整備（避難階段、避難用扉） 避難施設整備（避難タワー）	2023.3 策定	2021.3 策定
田辺市	1	芳養	49	●		◎	避難経路設定、避難施設整備（避難タワー）	2024.3 策定	2019.7 改定
	2	目良	3	●		◎	避難経路設定、避難路整備		
	3	江川	445	●		◎	避難経路設定、避難施設整備（避難タワー）		
	4	会津川 左岸地区	236	●		◎	避難経路設定、避難施設整備（避難タワー）		
	5	文里	68	●		◎	避難経路設定、避難施設整備（避難タワー）		

巨大地震による津波への対策① (2024年度末時点)

市町名	地区名	避難困難 地域人口 70%以上策定時	●完成 ○着手済		解消 状況 ◎解消	実施・検討状況 等	事前復興 計画	都市計画 マスター プラン
			市町	県				
白浜町	1 東白浜	78	●		◎	避難経路設定、避難ビル指定	2024年度 策定開始	2023.3 改定
	2 瀬戸	85	●		◎	避難経路設定・早期避難徹底、避難ビル指定		
	3 才野	100	●		◎	避難経路設定・早期避難徹底		
	4 中・栄	467	●		◎	避難経路設定・早期避難徹底 避難施設整備（避難タワー、避難ビル） 避難ビル指定		
	5 富田	439	○		2025 年度	避難経路設定・早期避難徹底、避難ビル指定 避難施設整備（救命艇、 避難タワー ※） ※2025年竣工見込（竣工後、11地区一斉解消見込）		
	6 富田(袋)	12	●		◎	避難経路設定・早期避難徹底		
	7 椿	149	●		◎	避難経路設定・早期避難徹底、避難路整備		
	8 市江	60	●		◎	避難経路設定・早期避難徹底、避難路整備		
	9 笠甫	4	●		◎	避難経路設定		
	10 志原	13	●		◎	避難経路設定、避難ビル指定		
	11 日置・大古	393	●		◎	避難経路設定・早期避難徹底 避難施設整備（避難タワー、避難ビル） 避難ビル指定		
すさみ町	1 周参見	958	●		◎	避難経路設定・早期避難徹底 避難ビル指定、避難施設整備（避難タワー）	2025年度 着手予定	未策定 都市計画 区域【有】
	2 口和深	10	●		◎	避難経路設定・早期避難徹底 避難路・避難階段整備		
	3 見老津	35	●		◎	避難経路設定・早期避難徹底、避難路整備		
	4 江須の川	63	●		◎	避難経路設定・早期避難徹底		
	5 江住	100	●		◎	避難経路設定・早期避難徹底、避難路整備		
	6 里野	16	●		◎	避難経路設定・早期避難徹底、避難路整備		
古座川町	1 高池	33	●		◎	避難経路設定・早期避難徹底 避難施設整備（津波避難総合センター）	検討中	都市計画 区域【無】
新宮市	1 三輪崎	600	●		◎	避難経路設定・早期避難徹底	2026年度 着手予定	2012.12 策定
	2 王子・熊野地	185	○			避難経路設定・早期避難徹底 避難路整備、避難施設整備（避難高台） 津波防護施設（ 緑の防潮堤 ※） ※新宮道路の整備に合わせて施工予定		

巨大地震による津波への対策③ (2024年度末時点)

市町名	地区名		避難困難 地域人口 プロگرام策定時	●完成 ○着手済		解消 状況 ◎解消	実施・検討状況 等	事前復興 計画	都市計画 マスター プラン
				市町	県				
串本町	1	和深	14				<p>【現状】 津波到達時間が早く、高台移転や複合避難ビル等、構造物の整備などの地域改造を含めた長期的な対策が必要であり、引き続き、各市町の南海トラフ地震津波対策検討協議会において協議を継続中</p> <p>【各地域で実施している取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高台造成、高台移転の検討 ・避難経路設定、早期避難の徹底 ・津波避難ビルの指定 ・避難路の整備 ・津波避難施設の整備 	検討中	未策定 都市計画 区域【有】
	2	安指	9						
	3	田子	7						
	4	江田	18						
	5	田並	326						
	6	有田	95						
	7	高富	57						
	8	二色	147						
	9	串本	3,175						
	10	出雲	195						
	11	大島	237						
	12	須江	48						
	13	檉野	1						
	14	姫	97						
	15	伊串	108						
	16	西向・古座	818						
	17	津荷	127						
	18	田原	436						
那智勝浦町	1	浦神	185				2022.3 策定	2022.3 策定	
	2	粉白	150						
	3	下里	1,454						
	4	二河	65						
	5	築地	1,424						
	6	勝浦	458						
	7	天満	2,636						
	8	浜ノ宮	317						
	9	狗子の川	5						
	10	宇久井	1,353						
太地町	1	太地	1,274				2021.3 策定	2021.3 策定	
	2	常渡	19						
	3	森浦	27						

ハード対策

【基本的な考え方】

- ① 3連動地震津波（レベル1津波）の避難困難地域を解消し、命を守ることが喫緊の課題
- ② 上記に加え、復旧復興の拠点となる施設の強化により、早期復旧復興につなげる

【堤防等整備方針】

【対策1】

津波第1波を防ぎ避難時間を確保

対策

堤防の嵩上げや耐震化等の整備

（理由）

「避難経路の詳細な設定・周知及び早期避難の徹底」及び「津波避難ビルの指定、避難路・避難階段の整備、津波避難施設の整備等」の各地区の対策では津波避難困難地域の解消が困難な地域の津波の第1波を防ぎ、避難時間を確保する

対象

3町6地区

【対策2】

経済被害を抑え早期復旧・復興

対策

港湾・漁港の既存施設の嵩上げ、拡幅等による強化

（理由）

東日本大震災において、完全に倒壊しなかった港湾・漁港の防波堤や岸壁が、背後地域の被害軽減や災害後の地域の早期復興、施設利用の早期再開に寄与した

対象

15市町（6港湾、10漁港）

【堤防等整備の考え方】

- 第1波対策等で避難時間を確保（又は浸水を抑制）
- 避難対策だけでは解消できない地域で対策を実施

【堤防等整備検討フロー】

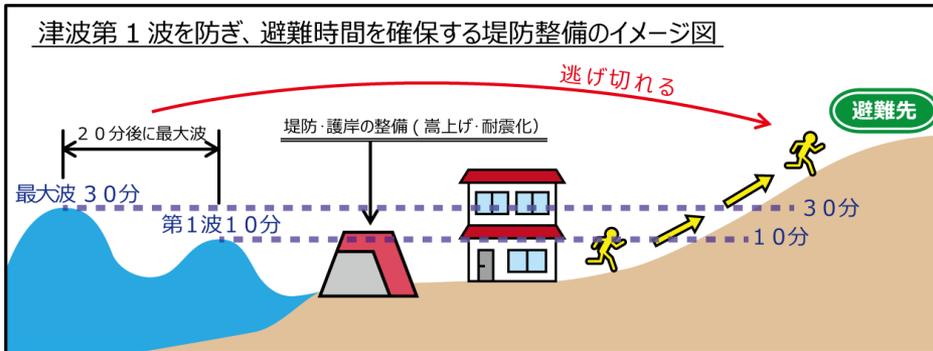
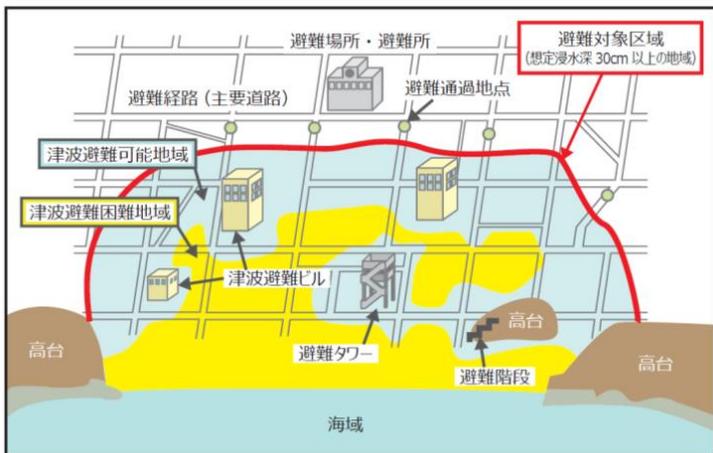
L1津波避難困難地域	4町22地区
------------	--------

2014年度公表時点更

避難路、避難場所対策等による解消	4町16地区解消 残り3町6地区は、堤防等整備での対策を検討 (※那智勝浦町築地地区は町と継続協議の上、決定)
------------------	--

2019年度決定

河川、海岸堤防等による解消（L1対策）	3町5地区で堤防整備※
---------------------	-------------



【3町6地区の堤防等整備の計画】

市町名	地区名	津波の状況 (津波高、到達時間)	現況施設の状況	整備内容
串本町	串本	第1波(3.9m、16分) 最大波(8.5m、33分) 確保時間(32分)	堤防高3.3~3.9m 漁港外郭3.0~5.7m	海岸堤防高上、耐震化 漁港外郭高上、耐震化
那智勝浦町	築地	第1波(5.5m、13分) 最大波も同じ	岸壁高2.0m	防波堤等整備 (町と協議して決定※)
	下里	第1波(6.3m、8分) 最大波(9.1m、21分) 確保時間(20分)	堤防高4.5~5.3m	海岸堤防高上、耐震化 河川堤防高上、耐震化
	天満	第1波(6.2m、12分) 最大波(7.6m、27分) 確保時間(26分)	堤防高3.4~6.0m	海岸堤防高上、耐震化 河川堤防高上、耐震化
太地町	太地	第1波(4.9m、12分) 最大波も同じ	堤防高6.5m	(北側) 海岸堤防耐震化
		第1波(4.3m、8分) 最大波も同じ	堤防高5.5~5.9m 漁港外郭6.7m	海岸堤防耐震化 漁港外郭耐震化

3町6地区

* 確保時間…第1波の浸水を抑制することで確保できる避難時間

※ 那智勝浦町築地地区の対策は、町が堤防等整備以外の避難対策を講じることで決定

【対策1】レベル1津波避難困難地域の堤防等の整備状況（実績）

- 串本町、太地町はハード整備が完了
- 那智勝浦町では、天満地区で県が堤防嵩上げを実施中

【2024年度末時点見込】

（計画）6地区（完了）5地区

		対象		事業状況	施設整備内容等		
町	地区	漁港・海岸	整備内容 (プログラム)		項目	整備事項	計画延長 (m)
串本町	串本	串本海岸	堤防嵩上 堤防耐震化	2023年度完了	堤防	堤防嵩上 堤防耐震化	2,220
		串本漁港	外郭嵩上 外郭耐震化	2021年度完了	防波堤	外郭耐震化	424
那智勝浦町	築地	勝浦漁港	防波堤等整備	-	防波堤	-	町において津波 避難対策を実施
	下里	太田川	護岸改良	2022年度完了	堤防	護岸改良	400
		那智勝浦海岸	堤防嵩上 堤防耐震化	2021年度完了	堤防	堤防嵩上 堤防耐震化	1,953
	天満	那智勝浦海岸	堤防嵩上 堤防耐震化	2025年度 完了見込	堤防	堤防嵩上 堤防耐震化	1,200
		那智川	護岸改良	2016年度完了	堤防	護岸改良	260
	宇久井	新宮港海岸	堤防耐震化	2018年度完了	堤防	堤防嵩上 堤防耐震化	180
太地町	太地	太地海岸	堤防耐震化	2018年度完了	堤防	堤防耐震化	100
		太地漁港	防波堤嵩上 防波堤耐震化	2020年度完了	防波堤	防波堤耐震化	220
	護岸		防波堤耐震化		55		

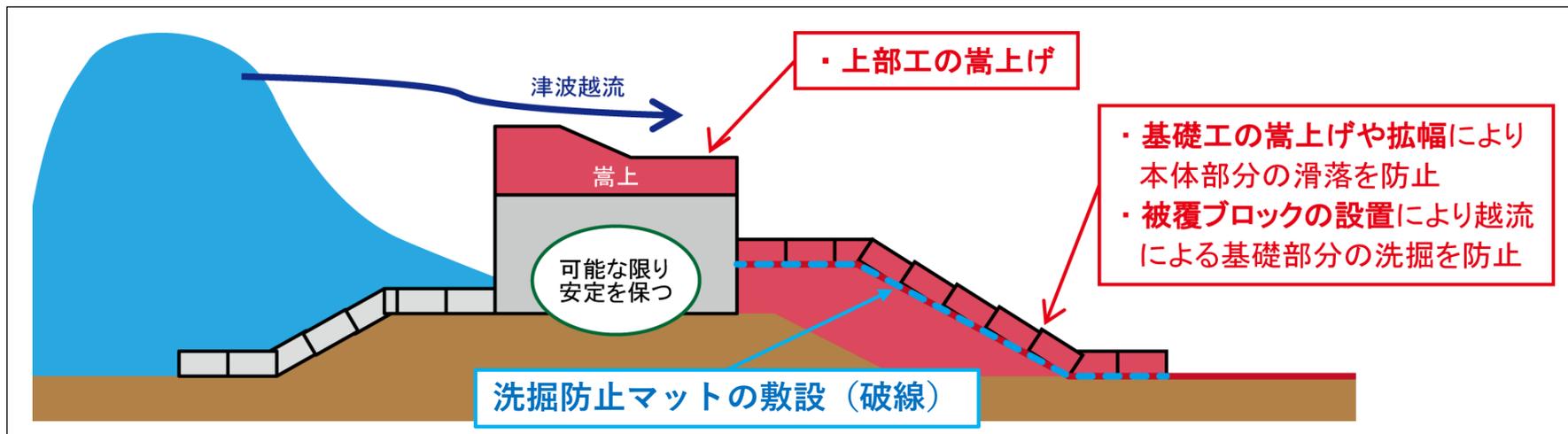
【基本的な考え方】

地域経済の拠点となる港湾・漁港の防波堤等を強化し、経済被害を抑え早期の復旧・復興につなげる

対象	
市町	施設名
和歌山市、海南市	和歌山下津港
和歌山市	和歌浦漁港
有田市	箕島漁港
湯浅町、広川町	湯浅広港
由良町、日高町	由良港
日高町	阿尾漁港
御坊市、美浜町	日高港
御坊市	塩屋漁港

対象	
市町	施設名
印南町	印南漁港
みなべ町	堺漁港
田辺市	田辺漁港
	文里港
すさみ町	周参見漁港
串本町	有田漁港
	串本漁港
新宮市	新宮港

【粘り強い構造のイメージ】



【対策2】 復旧復興の拠点となる施設の強化状況（実績）

●和歌浦漁港、湯浅広港、阿尾漁港、日高港、印南漁港、周参見漁港
 では施設整備が完了 【2024年度末時点見込】

●現在実施中の港湾・漁港については、引き続き整備を促進

(計画) 6 港湾 (完了) 2 港湾
 10 漁港 4 漁港

対象		事業状況	施設整備内容等		
市町	港湾・漁港		項目	整備事項	計画延長 (m)
和歌山市	和歌山下津港 (北港)	2017年度着手	防波堤	断面検討中	1,000
	和歌山下津港 (本港)	2022年度着手	防波堤	上部工の嵩上げ 基礎工の拡幅	1,224
		2022年度完了	防波堤	上部工の嵩上げ	1,345
	和歌浦漁港	2024年度完了	防波堤	基礎工の拡幅 被覆ブロックの設置	230
海南市	和歌山下津港 (海南)	2009年度着手	護岸	嵩上げ	6,200
			防波堤	嵩上げ	600
有田市	箕島漁港	2017年度着手	道流堤	上部工の嵩上げ	361
湯浅町 広川町	湯浅広港	2021年度完了	防波堤	上部工の嵩上げ 基礎工の拡幅	850
由良町 日高町	由良港	2012年度着手	防波堤	改良・嵩上	450
日高町	阿尾漁港	2022年度完了	防波堤	本体の滑動防止 基礎工の拡幅 被覆ブロックの設置	233
			護岸	本体の滑動防止	78
御坊市 美浜町	日高港	2020年度完了	防波堤	上部工の嵩上げ 基礎工の拡幅	400
御坊市	塩屋漁港	2020年度着手	防波堤	本体の滑動防止 被覆ブロックの設置	434

【対策2】 復旧復興の拠点となる施設の強化状況（実績）

対象		事業状況	施設整備内容等		
市町	港湾・漁港		項目	整備事項	計画延長（m）
印南町	印南漁港	2024年度完了	防波堤	上部工の高上げ 基礎工の拡幅 基礎工の設置 被覆ブロックの拡幅 被覆ブロックの設置	190
			護岸	本体の滑動防止 上部工高上げ	242
みなべ町	堺漁港	2017年度着手	防波堤	本体の滑動防止 上部工の高上げ 基礎の拡幅 被覆ブロックの設置	513
			護岸	本体の滑動防止	346
田辺市	田辺漁港	2017年度着手	防波堤	本体の滑動防止 基礎工の拡幅 被覆ブロックの設置	184
			護岸	本体の滑動防止	20
	文里港	2020年度着手	防波堤	上部工の高上げ 本体工の拡幅 基礎工の拡幅 被覆ブロックの設置	469
すさみ町	周参見漁港	2022年度完了	防波堤	本体の滑動防止 上部工の高上げ 基礎工の拡幅 被覆ブロックの設置	330
串本町	有田漁港	2017年度着手	防波堤	上部工の高上げ	219
	串本漁港	2020年度着手	防波堤	上部工の高上げ 本体の滑動防止 基礎工の拡幅 基礎工の設置	788
新宮市	新宮港	2017年度着手	防波堤	上部工の高上げ 基礎工の拡幅 被覆ブロックの設置	1,210